焼津水産化学の中国子会社
丸啓鰹節に売却へ

調味料メーカーの焼津水産化学工業は中国・大連の子会社を、カツオ節メーカーの丸啓鰹節（御前崎市、沢入伸泰社長）へ譲渡する方針を固めた。譲渡価格などは現在詰めており、3月末までの最終合意を目指す。5日には山田潤取締役執行役員（39）が4月1日付で社長へ昇格する人事も発表。課題の事業整理に一区切りをつけ、成長へ向けた新たなスタートを切る。

来月最終合意めざす

譲渡する子会社は焼津水産化学工業の完全子会社。資本金は450万ドル（約5億3000万円）で、2014年12月期の売上高は前の期比8%増の4億800万円だった。現地に進出する日系企業などに調味料を製造販売するほか、機能性食品素材の中間段階の生産も担ってきた。ただ、昨年に機能性食品向けの製造がなくなり、事業継続が難しくなったことから、1月に譲渡に向けた交渉を始めることを発表していた。

山田潤取締役執行役員㊧が社長に昇格し、山本和広社長㊨は会長に就く（5日、静岡市役所）

譲渡先の丸啓鰹節は焼津水産の株式を昨年9月末時点で1・7%保有する第6位株主で、焼津水産へは調味料などの原料を供給している。中国には05年、削り節・つゆ大手のヤマキ（愛媛県伊予市）と上海に共同出資で合弁会社を設立しており、削り節やだしパックなどを現地の食品メーカー向けに販売している。

丸啓鰹節は中国で展開する事業も好調に推移している。焼津水産の中国子会社を引き継ぐことで、より付加価値の高い調味料などの生産を始める狙いがあるとみられる。

焼津水産は近年の業績悪化を受け、生産工場の売却など事業整理を進めている。昨年9月には香辛料生産の静岡工場（静岡市）を閉鎖し、3月末には調味料の製造を手掛ける榛原工場（牧之原市）の閉鎖も予定する。

次期社長に山田氏「一般向け市場開拓」

焼津水産化学工業の社長交代は6年ぶりだ。4月1日には山田潤取締役執行役員が新社長に就き、トップは一気に25歳以上、若返ることになる。中国子会社の売却で負の遺産を整理した山本和広社長（66）は代表権のない会長に退き、業績のV字回復を後進に託す。

「まずは一般消費者向けの市場開拓や、東南アジアでの事業展開に重点的に取り組む」。5日の記者会見でこう抱負を述べた山田新社長は、4月の就任直後から新たな中期経営計画に沿った業績回復のかじ取りを担うことになる。

同社の16年3月期の連結売上高は前期比5%減の184億円で3期連続の減収。純利益は22%減の5億3000万円で2期連続の減益を見込む。主力の調味料はじめ各事業の競争環境は依然として厳しく、直近のピークだった11年3月期から1割落ちこんだ売上高の持ち直しは容易ではない。

もっとも同社には61の特許を持つ研究開発力がある。開発畑の山田新社長が機能性素材の開発などで潜在能力を引き出して新規事業に結びつけることができるのか。若手ならではの実行力とスピード感が期待される。

街づくり、高校生の組織
富士宮に「高校会議所」

富士宮市内の高校に通う高校生らが、街づくりや観光振興に取り組む「富士宮高校会議所」を8日に設立する。商工会議所同様に会頭、副会頭を置き、観光や環境、イベントなどテーマごとに部署を設置。〝本家〟商議所や地元企業、富士宮市などがノウハウ提供やPRなどで支援する。若い世代に街づくりへの主体的な参加を促し、地域の活性化につなげる。

5高校の20～30人が中心メンバーとして活動する。今春にも西町商店街に事務所を開き、定期的に会議を行う。富士宮やきそばを全国区にした富士宮やきそば学会の渡辺英彦氏らがアドバイザーを務める。単発のイベントではなく、複数校の高校生が継続的に街づくりに関わる仕組みは全国でも珍しい。

各高校は授業の一環などで地元食材を生かした商品の開発や、週末市の運営に取り組むことはあったが、農業や商業など各校の専門も生かしてアイデアを持ち寄る。毎月8日に西町商店街で開催する「にしの市」でにぎわいづくりに取り組むほか、協賛金を集めて将来的には自前のアンテナショップを持つことも視野に入れる。

内装材ライン一部停止で8日
共和レザー トヨタ全休止

共和レザーは5日、天竜第1工場（浜松市）と新城工場（愛知県新城市）で8日に自動車内装材に用いる塩化ビニール製シートの生産を停止すると発表した。最大の納入先であるトヨタ自動車がグループの愛知製鋼の工場爆発事故に伴い、8日から13日まで国内のすべての車両生産工場の稼働を休止することに伴う措置。

両工場は残業勤務や休日出勤も実施していたが、既に2日からは定時稼働に切り替えている。同様に高級車の座席用表皮などに用いるウレタン合成皮革を生産する天竜第2工場（浜松市）も、残業や休日出勤を取りやめ、2日にして、止しな

梅祭りに合わせ臨時急行

JR東海は2月27日と28日、東海道線の静岡駅と御殿場線の下曽我駅（神奈川県小田原市）を結ぶ約110キロメートル区間で臨時急行「富士山トレインごてんば号」を1往復ずつ運行する。小田原の梅祭りと冬の御殿場散策をPRする企画イベントで、2日間とも全席完売。担当者は「車窓の富士山も楽しんで」と話す。

JR東海 春の御殿場もPR

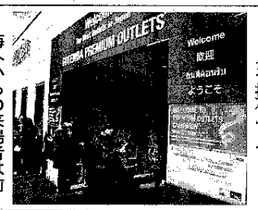
臨時急行は窓の大きい「373系」＝写真＝を使った3両編成（定員136人）で、専用のヘッドマークを装着。清水や富士、沼津、御殿場など7つの駅に停まりながら約2時間20分で走る。

乗客には上りと下りでデザインの違う記念乗車証をプレゼント。車両の側面にある行き先表示幕をモチーフにした特製グッズや御殿場の地ビールなどを車内で販売する。

御殿場駅では地元のゆるキャラ「ミクリン」が、下曽我駅では伝統芸能の獅子舞が乗客を出迎え、お茶や梅干しをサービスする。28日は御殿場駅を起点に観光名所をぶらり歩く「さわやかウォーキング」を開催。春の訪れを迎える御殿場線の週末観光のPRにもつなげたい考えだ。

訪日客増に備え 配送窓口や優遇
御殿場アウトレット

御殿場プレミアム・アウトレット（御殿場市）は訪日外国人客向けのキャンペーンを始めた。春節などで来客増が見込まれる2月末にかけて、ゲームや生活雑貨など日本限定商品を拡充したり、直接海外に配送できるサービスを提供する。2015年4月以降、海外からの来場客は前年同月の約2倍に増えており、一層の取り込みを目指す。



海外からの来場者は前年の2倍ほどに増えている（御殿場プレミアム・アウトレット）

「ポケモンストア」を設置し、海外客にも人気の雑貨を販売する。衣料品ブランドのギャップではパスポートで提示で購入額の一部を割り引く。6～14日には英語と中国語での対応ができるコンシェルジュを2人配置。30キログラムまでの荷物を発送できる日本郵便の国際スピード郵便（EMS）の特設窓口を設置する。

白い電子ピアノ 500台限定で発売
ローランド

ローランドは20日、家庭用電子ピアノ「HP603」のホワイト・モデルを500台限定で発売する。内装に…した。もがい…層へ…

「H…15年…デルで…品と同…載。近…ルート…トフォ…ブレッ…もでき…の外観…ーズウ…ルビー…デルを…

4月…い事を…込む。…想定小…万5…

静岡 きらり人財
従業員育て 顧客に楽しみを

「『街中活性化の起爆剤』と紹介されていたはずが、失敗しちゃった。でもまだ生きてるもんね」。屈託なく笑うのは、ファッションビル・SHIZUOKA109（静岡市）でユニクロに続く大型衣料品店・オールドキャンパス店長の浅野剛史さん（44）。カリスマ店長から自己破産という転落の過去を越え、再起をはかる。

浅野さんは古本大手のブックオフの店長として赤字店を黒字にした実績が評価され、新規事業の古着店を一任された経歴の持ち主。2009年、独立して開いた静岡市中心地のオールドキャンパス1号店でも、古着を1着1着査定するきめ細かさと確かな目利き力が人気を集めた。1年半で一気に6店舗を新規出店し、一時は年商2億500万円まで成長した。

オールドキャンパス店長
浅野 剛史さん

元カリスマ、明るさで再起

「異変に気づいてからは早かった」。出店ペースに人材育成が追いつかず、綻びが出始めた。店を任せていたアルバイトが接客も売り場作り十分にできず客が離れ、前年割れが止まらなくなった。赤字店舗も出たが相談相手もおらず銀行は融資返済の要求ばかり。

14年冬、親族が借金の肩代わりの申し出た時、自己破産を決断。自宅も店舗も失い周囲から非難を浴び、「自分は犯罪者なのか」とさえ感じた。

「気が遠くなって突然倒れたことも1度ではない」ほど厳しく辛い時間を過ごした。

家族や従業員との関係も悪化する中、ある経営コンサルタントとの出会いが潮目を変えた。経営改善計画作りに深夜までつきあい、金融機関や地主との面談にも同席。計算し尽くされた戦略と強い交渉力であらゆる条件を有利に引き寄せた。

再挑戦への道が開けたのは109への入居継続決定。一等地の商業施設にもかかわらず、店の集客力を買って特別な賃料契約が認められた。以来、浅野さんは毎日店に立ちながら、商品企画・製作、経営管理すべてをこなし立て直しに励む。

「この店だけになってから、幸せ。店もお金も、家族との時間も、相談相手も。少ないけど十分にある」。古着から新商品へのシフトも成功し、1店舗になってから今年1月までの15カ月、店舗売り上げは前年同月を上回り続けている。

事業はビジネスモデルではなく人で決まると身をもって知る。「お客さんに楽しんでもらいながら、全従業員が成長する企業を作る」との思いの強さは、突き抜けた明るさに裏打ちされる。

静岡支局 054-253-7191
浜松支局 053-452-8593

ひとこと
「真面目に正直に諦めなければ、助けてくれる人がいる。今、楽しくてしかたない」

新車登録台数
県内1月 軽は9.7%

日本自動車販売協会連合会静岡県支部がまとめた1月の新車登録台数（軽自動車を除く）は、前年同月比6・7%増の8226台だった。前年を4カ月連続で上回った。消費増税の影響で販売は一時低迷していたが、メーカーの新車投入の効果などもあり、状況は改善に向かっている。

車種別では乗用車が8・7%増の7373台だった。ブルドーザーなど特殊車も11・5%増の107台と増えた。一方で、貨物車は10・5%減の728台と2カ月連続で減少した。

県軽…
めた1…
売台数…
7%減…
た。減…
いて…

地域情報ヘッドライン

▽おい…
体験フ…
～午後…
湖ガー…
▽いわ…
日午前…
田市の…
に100…
み、ソ…
と雪遊…
校生の…
ども行…
合わせ…
（電05…
11）。